

上伊那郡宮田村の駒ヶ根高原の「永遠の鐘」の鐘楼に24日、同村の友好都市・愛知県田原市の恋路ヶ浜にあった「幸せの鐘」が取り付けられた。昨年12月に「永遠の鐘」を設置した村商工会青年部などの有志が、二つの鐘を対にして村の名所をつくらうと、23日に恋路ヶ浜を訪れて鐘を交換。設置式には村関係者ら約50人が集まり、新たな交流の可能性に期待を込めた。

愛知「幸せの鐘」駒ヶ根高原に 「永遠の鐘」と交換 交流深める



愛知県田原市の恋路ヶ浜にあった「幸せの鐘」を鳴らす家族連れ＝宮田村

ている。23日の鐘の交換には村内の20〜30代の女性8人も参加、田原市の男性と交流した。同青年部は、数年ごとに鐘の交換や若者の相互訪問をして交流を深める考えだ。

設置式の後、さっそく鐘を鳴らすカップルも。交際の女性と駒ヶ根市から訪れた男性(45)は「ここからの雄大な山の景色を一人で見たかった。自分や彼女を含め、みんなの幸せを願って鳴らした」と話していた。